

## 栃木労働局長が建設工事現場の安全パトロールを実施しました ～全国安全週間の取組み～

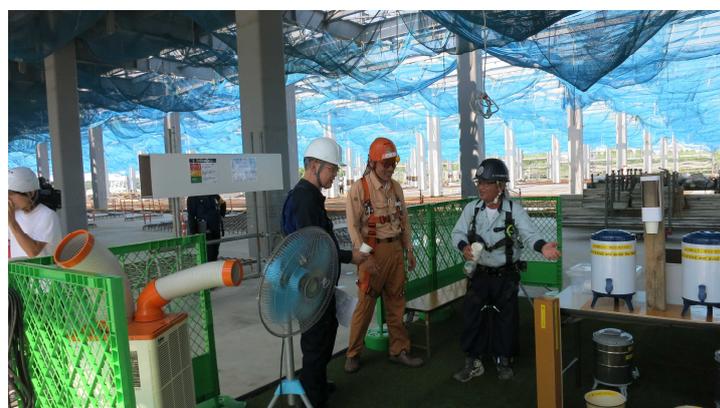
全国安全週間（7月1日～7日）の取組みの一環として、令和6年7月4日（木）、栃木労働局長（奥村英輝）は、建設工事現場の安全パトロールを実施しました。

パトロール現場は、株式会社 大林組が工事を施工し、宇都宮清原工業団地に所在する「キャノン宇都宮光機新棟工事」の工事現場です。

現場会議室において、奥村労働局長は挨拶を含め、安全パトロールの趣旨について説明し、三栖<sup>みす</sup>作業所長からは本工事の概要や熱中症対策等の労働災害防止の取組状況について説明されました。その後、各自、熱中症対策を講じた上で現場の巡回パトロールを開始しました。



奥村労働局長は、高所からの墜落防止措置、整理整頓による転倒予防対策、熱中症予防対策などの状況について、適切に対応していることを確認し、また、朝礼場所に集まった現場作業員の方々に、墜落・転落防止対策、“あわてる”、“あせる”、“あなどる”意識からの不安全行動の防止、建設重機災害対策、熱中症予防対策について、呼びかけを行いました。



巡回パトロール終了後、鷹中労働基準部長、奥村労働局長よりパトロール結果の講評がされ、熱中症対策等の労働災害防止対策の徹底による先を見据えた計画的な安全対策を進め、全工事期間の無災害での竣工を要請しました。